



会員忘年会

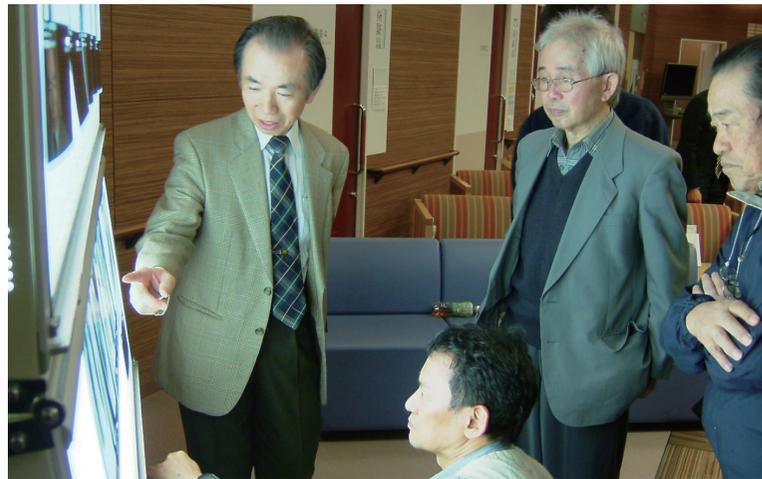
# 一年間を振り返り 交流を深めあう

12月29日、「木曾路」西宮店で、加藤隆久先生（西宮市・加藤歯科医院）の司会のもと、毎年恒例の会員忘年会を開催。今回も Medical English の Robert Conroy 氏、医療過誤訴訟セミナーの鶴飼万貴子弁護士（大阪・米田泰邦法律事務所）、胸部 X-P 読影会の橋野盛彦先生（西宮市・橋野医院）、漢方研究会の長光由紀先生（伊丹市・ウイング調剤薬局）など、日ごろより支部企画の講師・司会でお世話になっている方々を含め、20人が参加した。

幸原久先生（芦屋市・幸原小児科・内科医院）からの乾杯の発声の後、参加者は東日本大震災など一年間で起こった出来事や支部の活動について振り返るとともに、日常診療などについて語り合い交流を深めた。



幸原先生からの発声で乾杯する参加者



持ち寄ったレントゲン画像を真剣に検討する参加者

講演後には、参加者が日々の診察で撮影した胸部レントゲン画像を持ち寄り、写っている影などからどのような診断を行うべきかについて、意見を出し合いながら真剣な検討がなされた。

参加者からは、ステロイド剤の使用方法などについて質問がなされたほか、「性別・年齢・症状の異なる具体的な症例が複数挙げられ、とても参考になった」「明日からの診療に役立つ実践的な研究会だった」などの感想が寄せられた。

また、治療に用いる薬については、①ステロイド、②抗菌剤、③気管支拡張剤、④抗アレルギー剤などがあるが、急性増悪時にはステロイド剤は、十分な量を短期間投与すべきこと、抗菌薬も自覚症状悪化時には原則的に投与すべきこと（キノロン系・マクロライド系）などを説明した。

12月2日に西宮渡辺心臓・血管センターで、原秀樹先生（尼崎市・はら内科クリニック）を講師に迎え、「気管支喘息の増悪時期における管理と治療」をテーマに第10回胸部 X-P 読影会を開催。橋野盛彦先生（西宮市・橋野医院）の司会で、講演後には参加者が持ち寄ったレントゲンに基づく症例検討も行われ、9人が参加した。

## 第10回胸部 X-P 読影会 明日からの診療に役立つ 気管支喘息の診断・治療法

原先生は、気管支喘息について複数の具体的な症例を挙げながら分かりやすく解説。特に気管支喘息の急性増悪時の診断については、①上気道疾患（特に鼻腔・副鼻腔疾患）に留意すること、喉をよく見て後鼻漏を見落とさない、②注意深い聴診を行うこと（呼吸終末の喘鳴を見落とさない、呼吸音減弱時は SpO<sub>2</sub> も）、③高齢者の場合は肺炎に留意すること、などがポイントとなることを指摘した。

### 英語で診療 Medical English #32

【日時】 2月17日（金）13時半～15時  
 【会場】 西宮フレンテ5階練習室  
 【テーマ】 「動悸&急性冠症候群」  
 【講師】 Com Language School  
 Mr. Robert Conroy  
 【アドバイザー】 西宮市・伊賀内科・循環器科  
 伊賀 幹二 先生

### 支部設立 30 周年記念ブルゾン販売のお知らせ

西宮・芦屋支部では設立 30 周年を記念し、記念のブルゾンを作成いたしました。通気性・撥水性が良く収納用のポケットも充実しているため、救急時や災害時はもちろん、普段の往診の際などにも大変便利にお使いいただけるブルゾンとなっております。背中には「Nishinomiya-Ashiya branch of Hyogo Medical Practitioners' Association (兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部)」のロゴ入り。

ぜひこの機会にお買い求めください！

【会員特別価格】 6,000円 (税込、送料別途)

	S	M	L	LL
着丈	63	65	67	69
肩幅	48	50	52	54
袖丈	58	60	62	63
胸廻	113	118	123	128